

個性的なファッションで「モトコー」を歩く学生たち（神戸市中央区で）



お気に入りの服学生披露

モトコーでショー、練り歩く

「モトコー」の愛称で親しまれる神戸市中央区の元町高架通商店街で29日、神戸ファッション専門学校（神戸市中央区）によるフ

ァッションショー「モトコーコレクション」が開かれ、学生モデルが、電車の音が響くハランウエーを練り歩いた。

JR元町―神戸駅間に約300店が軒を連ねる同商店街は、開催中の「神戸ビエンナーレ」の会場になっており、現在、空き店舗などを利用した現代アート作品が展示されている。

ショーもその一環で、服飾を学ぶ学生がモトコーで販売されている服や靴、帽子、アクセサリーなどを借りて思い思いにコーディネートし、モデルも務めた。

普段からモトコーで買い物するという同校2年の斉藤翔吾さん(22)は「モトコーはマニアックな古着屋さんが多く、ショーをきっかけに若い人に足を運んでもらえれば」と話していた。